

ツリーハウスでくつろぎながら「木の温かみを感じてもらいたい」と話す大岩さん

真庭市蒜山別所の森林体験

施設「はにわの森」に、高さ7
 層のツリーハウスがお目見え
 した。市域おこし協力隊員
 で施設代表の大岩功さん(38)
 が「森林や木に親しむきっか
 けになれば」と企画。7月24日
 支え、うち大きな2本が建
 ち上げられた。

ツリーハウスは6畳ほどの
 小屋を5本のスギの幹が
 支え、うち大きな2本が建
 ち上げられた。遊具
 として広く活用してもら
 う。

物の上下を貫通した構造。屋
 根は自然塗料で青や黄色にペ
 イントした板で装飾され、窓
 もある。

「先人が残してくれた木材
 をもっと活用したい」と建築
 を発案。岡山県内の大工らに
 依頼し、周囲に生えているス
 ギを使用しておよそ1カ月か
 けて仕上げた。

はにわの森(2杉)は人工
 樹林の中に広場や小道を整備
 し2018年夏にオープンし
 た。まきや釜を使って里山暮
 らしを体験したり、外国人家
 族と母国料理を作って異文化
 を学んだりするキャンプイベ
 ントを展開している。

大岩さんは「施設のシンボ
 ル的存在が完成した。誰でも
 気軽に来て遊んでもらいた
 い」と呼び掛けている。

問い合わせは大岩さん(0
 80-83308-4536)。



スギを使って建てられたツリーハウス

「木に親しむ契機に」 大岩さん企画 協力隊員

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。